

「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の指標項目・目標値について

資料5

1 ライフステージに応じた歯科保健対策の推進

		第3期宮崎県歯科保健推進計画指標項目(案)										【国】歯科口腔保健の推進に関する基本的事項 指標項目				検討項目	出典
No.	提案	指標項目	2011 H23	2016 H28	2021 R3	2022 R4	2023 目標値	(単位)	評価	2029 (R11) 目標値	指標項目	全国値	国目標値* 2022(R4)	国目標値 2033 (R17)			
乳幼児期	1	○	3歳児の一人平均むし歯数を減らす*1	1.26	0.83	0.54		0.5	(本)	B	0.3		0.33*4		*1 地域保健・健康増進事業報告 *2 県民健康・栄養調査 *3 健康増進課調査 *4 令和3年度地域保健・健康増進事業報告		
	2	○	3歳児のむし歯のない者の割合を増やす*1	71.0	78.2	84.7		90	(%)	B	90		89.8*4	90			
	3	追	3歳児で4本以上のう蝕のある歯を有する者の割合*1	(H30) 6.41	(R1) 5.89	(R2) 5.84	5.31		(%)		2	3歳児で4本以上のう蝕のある歯を有する者の割合	2.96*4	0		・指標項目及び目標値の設定はこれで妥当か。	
	4	○		1歳6か月児*1		72.2	74.1			C	80						
	5	削	時間を決めておやつを与えている保護者の割合を増やす	3歳児*2	65.2	63.8	72.1		80		B	—				・より早い段階での指標項目であり、毎年データを把握することが可能な1歳6か月児に統一して良いか。	
	6			就学前児*2	66.6	65	63.5		80		C						
	7	削	フッ化物塗布に取り組む市町村の割合を増やす*3	塗布	80.8	88.5	96.2	96.2	100		B	100				・削除でよいか	
	8	○	フッ化物洗口に取り組む保育所・幼稚園等の割合を増やす*3	保育所	39.4												
			幼稚園	3.03	52.1	52.5	51.5	70		C	70						
		乳幼児期の口腔機能の獲得に関する事業を実施している市町村を増やす	認定こども園														
							13**5	—			市町村			26			
学齢期	1	○	12歳児の一人平均むし歯数を減らす(永久歯)*1	1.7	1.16	0.9	0.76	0.8	(本)	A	0.6		0.63*2		*1 宮崎県の学校における歯科保健統計～歯科疾患等実態調査～ *2 学校保健統計調査 *3 健康増進課調査 *4 令和4年度歯科疾患実態調査		
	2	○	12歳児のむし歯のない者の割合を増やす(乳歯及び永久歯)*1	41.5	54.2	60.8	67.2	65	(%)	A	80		70.6*2	65			
	3	追加	12歳でう蝕のない者の割合が90%以上の市町村数			0	0	—	(%)		6	12歳でう蝕のない者の割合が90%以上の都道府県数	0*2 都道府県	25		・指標項目及び目標値の設定はこれで妥当か。	
	4	—	(10代における歯肉に炎症所見を有する者の割合)	(10～17歳)		21.6*2	20.1*2		(%)			10代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	19.8*4	10			
	5	○	年1回以上歯科専門職による歯科保健指導を実施している小学校の割合を増やす*3		51.7	50.9		18.0	70		D	70					
	6	○	フッ化物洗口に取り組む小学校・中学校の割合を増やす*3	小学校	16.5	48.5	74.6	77.7	60		A	90					
	7	○		中学校	15.6	37.5	47.4	51.1	50		A	70					
	8	—	(15歳未満でフッ化物応用の経験がある者)							(%)			15歳未満でフッ化物応用の経験がある者	66.7*4		80	
成人期	1	○	60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合を増やす*1	49.7	63.3		64.4*2	70	(%)	E	70		74.4*6	95	*1 県民健康・栄養調査(身体状況調査) *2 県民健康・栄養調査(アンケート) *3 歯科医療機関調査 *4 NDBデータ(50～74歳) *5 健康増進課調査 ※県民健康・栄養調査(アンケート)の令和4年度数値は暫定値 *6 平成28年歯科疾患実態調査 *7 令和4年度歯科疾患実態調査 *8 令和元年度国民健康・栄養調査 *9 令和4年度厚生労働省委託事業 *10 地域保健・健康増進事業報告		
	2			25-34歳	27.3	44.4	52.7*3	20		E	40		44.7*6 (40歳代)	25 (40歳代)			
	3	○	進行した歯周炎を持つ人の割合を減らす*1	35-44歳	40	43.3	72.4*3	30	(%)	E	50						
	4			45-54歳	39.5	57.5	74.8*3	30		E	50						
	5	—	(20代～30代における歯肉に炎症所見を有する者の割合)						(%)			20代～30代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	24.5*8	15			
	6	—	(20歳以上における未処置歯を有する者の割合)						(%)			20歳以上における未処置歯を有する者の割合	33.6*6	20			
	7	保留	(40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合)				30.1*2		(%)		検討	40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合	22.7*6	5		・指標項目及び目標値の設定はこれで妥当か。「減らす」等の定性目標とするか。	
	8	—	(40歳以上における歯周炎を有する者の割合)						(%)			40歳以上における歯周炎を有する者の割合	56.2*6	40			
	9	追	50歳以上(50～74歳)における咀嚼良好者の割合*4		79.1 (R1)	78.4 (R2)	77.5			(%)		85	50歳以上における咀嚼良好者の割合	72.2*8		80	・年齢調整後、データ修正あり。指標項目、目標値は妥当か。
	10	○	1日1回十分に時間をかけ、ていねいに磨く人(1回の歯磨きで4分以上磨く人)の割合を増やす*2	35-44歳	12.3	16.8	34.0	50		B	50						
	11			45-54歳	16	15.8	25.0	50		B	50						
	12	削	フッ化物配合歯磨剤使用者の割合を増やす*2		76.1	83.1			100		E						
	13	○	歯間部清掃用具(デンタルフロス、歯間ブラシ)を使用している人の割合を増やす*2	35-44歳	35.4	32.9	46.8	50		B	50						
	14			45-54歳	33.3	32.7	45.1	50		B	50						
	15	○	喫煙が歯周病に及ぼす健康影響についての正しい知識を持っている人の割合を増やす*2		22	28	61.8	90		B	90						
	16	追	歯周病が糖尿病と関係があることを知っている者の割合を増やす*2				43.1					90					
	17	○	過去1年間に歯科健診を受診した者の割合を増やす。(定期的に歯科健診に行っている人の割合を増やす)*2		17.9	21.5	51.1	50	(%)	A	65		58.0*6	65		95	
	18	○	歯科健診を実施している事業所の割合を増やす*5		2.04 (H25)	3.91	—	5.0		B	10						
	19	削	妊産婦に歯科保健指導(個別もしくは集団)を実施している市町村の割合を増やす*5		53.8	69.2	57.7	57.7	100		C	100					
	20	削	成人の歯の健康教育を行っている市町村の割合を増やす*5		53.8	50.0	34.6	38.5	100		C	100					
	21	削	成人の歯科健診を行っている市町村の割合を増やす*5⇒成人期「No.23」とする。		57.7	69.2	92.3	92.3	100		C	100					・成人期の歯科健診を実施している市町村は92.3%であり、次の段階として受診率の向上が重要ではないか。
	22	追	妊産婦の歯科健診を行っている市町村の割合を増やす*5		15.4	38.5	46.2	46.2				100					
	23	変更追加	成人歯科健診(歯周疾患検診)の受診率を増やす*10			(H30) 4.8	(R1) 3.5	—	(%)		5	法令で定められている歯科健診を除く歯科健診を実施している市町村の割合	45.6*9	100		・指標項目及び目標値の設定はこれで妥当か。	

提案：○…継続 追…追加 ー…追加しない 削…削除  
 評価：現指標項目の評価は、A 目標値に達した、B 目標値に達していないが改善傾向にある、C 変わらない、D 悪化している、E 把握方法が異なるため評価困難 の5段階で評価する。

宮崎県において、法令で定められている歯科健診を除く歯科健診を実施している市町村の割合53.8%(14/26市町村)これに健康増進法に定められている歯周疾患検診(努力義務)を含めると92.3%(24/26市町村)

## 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の指標項目・目標値について

### 1 ライフステージに応じた歯科保健対策の推進

第3期宮崎県歯科保健推進計画指標項目(案)										【国】歯科口腔保健の推進に関する基本的事項指標項目(案)						
No.	提案	指標項目	年度	2011 H23	2016 H28	2021 R3	2022 R4	2023 目標値	(単位) 評価	2029(R11) 目標値	指標項目	全国値	国目標値 2022(R4)	国目標値 2035(R17)	検討項目	出典
高齢期	1	○	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合を増やす*1	25.3	33.6		42.2*3	50	(%) E	60	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合を増やす*1	51.6*4	60	85		*1 県民健康・栄養調査(身体状況調査) *2 健康増進課調査 *3 県民健康・栄養調査(アンケート) ※令和4年度数値は暫定値 *4 令和4年歯科疾患実態調査
	2	—	(60歳以上における未処置の根面う蝕を有する者の割合)						(%)		60歳以上における未処置の根面う蝕を有する者の割合			5		
	3	○	介護予防・日常生活支援総合事業(口腔ケア、口腔機能向上)に取り組む市町村の割合を増やす*2		69.2	50.0	42.3	100	(%) D	100						

### 2 支援が必要な方への歯科保健対策の推進

No.	提案	指標項目	年度	2011 H23	2016 H28	2021 R3	2022 R4	2023 目標値	(単位) 評価	2029(R11) 目標値	指標項目	全国値	国目標値 2022(R4)	国目標値 2035(R17)		出典
1	○	障がい児者の一人平均むし歯数を減らす*1	12歳	2.02	0.97	0.8	0.41	0.8	(本) A	0.3						*1 宮崎県の学校における歯科保健統計～ 歯科疾患実態調査～ *2 宮崎県歯科医師会調査 *3 健康増進課調査(障害者支援施設、 障害児入所施設) *4 健康増進課調査(特別養護老人ホーム、 介護老人福祉施設) *5 健康増進課調査(特別養護老人ホーム、 介護老人福祉施設、認知症グループホーム を含む) *6 令和元年厚生労働科学研究事業
2	○	障がい児者のむし歯を持たない者の割合を増やす*1	12歳	41.9	50	59.8	74.8	65	(%) A	90						
3	○	障がい児者協力歯科医師の人数を増やす*2			57	80	87	70	(人) A	100						
4	追	定期的な歯科健診を実施している障がい者支援施設及び障がい児入所施設の割合を増やす*3					70.4		(%)	90	障がい者支援施設及び障害児入所施設での過去1年間の歯科検診実施率	77.9*6	—	90	・指標項目及び目標値の設定はこれで妥当か。	
5	○	定期的な歯科健診を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす*4		53.3	—	35.1	*5	70	(%) D	70	介護老人福祉施設、介護医療院及び介護老人保健施設での過去1年間の歯科検診実施率	33.4*6	—	50		
6	○	定期的な歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアに関する研修会を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす*5		59.8	—	49.2	*5	70	(%) C	70						
7	○	在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合を増やす*2		27.7	27.1	27.3	40		(%) C	40						

### 3 医科歯科連携を推進するために必要な体制の整備

No.	提案	指標項目	年度	2015 H27	2016 H28	2021 R3	2022 R4	2023 目標値	(単位) 評価	2029(R11) 目標値	指標項目	全国値	国目標値 2022(R4)	国目標値 2035(R17)		出典
1	○	周術期口腔機能管理計画策定料の算定件数を増やす*1,2		1,606	1,723	3,363 (R2)	—	3,000	(件) A	4,000						*1 厚生労働省保険局医療課調査 *2 歯科保健医療に関するオープンデータ (診療報酬改定により「周術期等口腔機能管理計画策定料」に変更) *3 宮崎県歯科医師会調査(「できている」、「ある程度できている」と回答)
2	追	医科歯科連携ができている*3病院を増やす				64.4*3			(%) —	80					・指標項目及び目標値の設定はこれで妥当か。	

### (歯科口腔保健の推進のために必要な地方公共団体の取組の推進)

No.	提案	指標項目	年度	2011 H23	2016 H28	2021 R3	2022 R4	2023 目標値	(単位) 評価	2029(R11) 目標値	指標項目	全国値	国目標値 2022(R4)	国目標値 2035(R17)		出典
1	—								(%)		歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している保健所設置市・特別区の割合	34.3*1		60		*1 令和3年度口腔保健に関する調査 *2 令和4年度厚生労働省委託事業
2	—								(%)		歯科口腔保健に関する事業の効果検証を実施している市町村の割合	28.7*2		100		

提案：○…継続 追…追加 —…追加しない 削…削除

評価：現指標項目の評価は、A 目標値に達した、B 目標値に達していないが改善傾向にある、C 変わらない、D 悪化している、E 把握方法が異なるため評価困難 の5段階で評価する。